

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)					
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていない が必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。			
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成23年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成24年度予定	
1. 事業計画による施設の運営が市民の平等な利用を確保するものであること					
・市民の平等な利用を確保できる取り組みとなっているか		○	○		
①音響機器を大音量で流すなど、他の利用者に迷惑になるような行為は禁止する。	①注意文を作成し、数箇所に設置	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた、特にフタッフからの声かけなどで、利用者同士が譲り合えるような配慮が行き届いていた。	①実施済	
②届出が必要な各スペースの利用時間は、概ね2時間程度とする。	②履行済			②H23年度と同様に実施予定	
③他のスペースの利用においても、他の利用者の迷惑にならないような配慮を促す。	③注意文を作成し、数箇所に設置			③H23年度と同様に実施予定	
④使った資料・器具は、使用后元に戻すよう義務付ける。	④注意文を作成し、ワークスペースに設置			④H23年度と同様に実施予定	
⑤上記の注意事項を文章にして、見えやすいところに掲示する。	⑤実施済			⑤H23年度と同様に実施予定	
⑥スタッフは、全体の雰囲気配慮し、施設利用者相互の譲り合いができるように努め、そのための研修を行う。	⑥スタッフ会議で確認しあい、研修も実施済			⑥H23年度と同様に実施予定	
・高齢者や障がい者に対する配慮がなされているか		○	○		
①出入り口や通路に障害物を置かない等、車椅子での安全な移動を確保する。	①実施済(段差を解消)	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。単に掲示しておくだけではなく、来訪する高齢者へのちょっとした声かけ、丁寧な応接や説明が行われていた。今後も高齢者などの来館は増加すると考えられるため、必要に応じた協力体制の構築を期待する。	①実施済	
②館内の施設・備品の転倒防止など事故防止に心がける。	②備品の設置場所等考慮し、心がけている			②H23年度と同様に実施予定	
③入り口に、手すり・点字ブロックなどの設備を明示した案内板を表示する。	③実施済			③実施済	
④案内窓口には筆記によるセンターの案内も出来る事を明示する。	④実施済			④実施済	
⑤介助者が必要と思われる場合、介助が必要かどうかを尋ね、可能な介助を行う。また、必要に応じて周りの利用者にも協力を求める。	⑤履行済			⑤H23年度と同様に実施予定	
⑥手話通訳者やガイドヘルパーなどの有資格者によるセンター案内ボランティアを募り、協力を求める。	⑥ボードを使用することにより案内などを行った			⑥H23年度と同様に実施予定	
⑦スタッフは利用者に対して丁寧に応接し、高齢者や障がい者が利用しやすい施設である事を心がける。	⑦文字盤や音の電卓などを設置			⑦H23年度と同様に実施予定	
⑧スタッフは、手話や視覚障がい者への手引など、障がい者がセンターを利用するのに必要な介護研修をうけるなど、接遇能力の向上に努める。	⑧ボードを使用することによる案内、視覚障がい者の方の介助などを行うなど、接遇の向上に努めた。			⑧H23年度と同様に実施予定	
2. 事業計画の内容が、施設の目的を効果的に達成できるものであること					
・施設の設置目的に整合した効果的な運営になっているか		※資料1 管理施設の利用状況・施設利用の内訳		○	○
①ボランティア・市民公益活動団体に、施設の案内をお知らせするとともに利用を呼びかける。	①実施済			①H23年度と同様に実施予定	
②市内の自治会に、案内を送り、各地にどんな活動団体・個人がいるのか、又どんな活動をしているのかを知ってもらい、相互協力の拠点の一つにしよう。	②実施済			②H23年度と同様に実施予定	

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)					
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていない が必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。			
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成23年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成24年度予定	
③市内の各保育園・幼稚園・小学校・中学校のPTAに案内し、情報交換と交流の場にしてもらう。また、高等学校・専門学校・大学に、PTAのみならず、生徒会・自治会・サークルにも案内し、利用を促す。	③実施済	事業計画どおり実施できた。	体験・見学プログラムの実施や、東日本大震災の被災地への支援活動などを通じて、これまで以上に多くの団体との連携が進み、登録団体や利用者の増加につながったと認められる。今後も、様々な団体との連携や交流を図るよう努めてもらいたい。	③大学生のフィールドとして、るーぷらざを提供する	
④市内の青少年育成団体連絡会に案内を送り、市内の様々なボランティア・市民公益活動団体との連携を進める。	④実施済			④H23年度と同様に実施予定	
⑤商工会、商店会等に案内を行い、企業のボランティア活動の紹介の場として利用してもらうとともに、ボランティア支援活動を促す。	⑤実施済			⑤H23年度と同様に実施予定	
⑥市内のNPO法人や、社会福祉法人、医療法人などの公益活動法人に案内を送り、他の市民団体とより協働できるよう働きかける。	⑥実施済			⑥H23年度と同様に実施予定	
⑦幅広いラウンドテーブルを定期的開催し、情報交換の場として定着を図る。	⑦実施済			⑦H23年度と同様に実施予定	
⑧「自分たちも団体を立ち上げたい」という方や、「連絡先が公表できない」等で悩んでいる方に、助成金制度や支援システムなどを紹介すると共に、2階の貸事務ブースや、貸ロッカーの活用をすすめる。	⑧実施済			⑧H23年度と同様に実施予定	
・利用者の要望を反映できる取り組みとなっているか ※資料2 利用者アンケート結果		○	○		
①案内窓口にアンケート用紙・目安箱を配置する。センター管理上で改善すべきところは市との協議のもと改善し、それを掲示板にて公表する。	①目安箱を設置済。事例なし。	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できているが、次回からはアンケートの実施期間などに若干の工夫を。	①目安箱を設置済。事例があれば履行予定	
②利用者相互に関わることについては、個人攻撃にならない事を配慮して公表し、利用者自身の積極的な関わりを求める。	②事例なし			②事例があれば、履行予定	
・利用者の苦情に対応できる取り組みとなっているか		○	○		
①利用者の苦情がでないようにスタッフによる自己点検、相互点検のミーティングを重ねる。	①スタッフ会議で実施	事業計画どおり実施できた。	施設への苦情や意見などがあれば、それを改善や工夫に活かす前向きな取り組みを期待する。	①H23年度と同様に実施予定	
②第三者の意見を聞き市当局との協議の上で、問題点を探り速やかに改善を図る。また、必要に応じて公表する。	②目安箱の設置、アンケートの実施など、利用者の苦情を吸い上げる仕組みづくりが進み、日々改善を図っている中で、これまで大きな苦情はない。			②H23年度と同様に実施予定	
・施設の利用を促進できるような取り組みとなっているか ※資料3 平成23年度事業概要		◎	○		
①センターは情報提供、学習機会提供、交流促進、相談・コーディネート各部会で年間事業計画を作成し、各々の活動を通して利用促進を図る。	①アドバイザー講座、ボランティアフェスティバル、情報提供コーナー等でPRし、利用促進を図った。	市内各まちづくり交流会への参加、広報誌への掲載、メディア関係への積極的働きかけ等により従来の利用者に加え地縁型やNPO法人等新規利用が進んだ。	事業計画にあるとおり、4つの部会の活動を通じて利用促進を図っていると認められる。今後も、部会の活動をより活性化させる取り組みを進めてもらいたい。	①より一層利用促進を図ると共に、広報、ミニコミ紙等への情報提供に努める	
②情報誌「るーぷらざだより」の内容の充実を図り、個人にも渡せるよう発行部数と配布対象を広げる。インターネットでは様々な活動を紹介するとともに、センターに対する掲示板を創設する。	②団体だけでなく、一般にも読んでもらえるよう、るーぷらざだよりを年4回で発行し、ホームページでも紹介した。また、新たに団体イベント情報も発行。さらに、市広報誌などで情報提供に努めた。インターネットでは、掲示板を設置せず、電子メールで要望・苦情等を受け付けている。			②るーぷらざだよりを年4回発行予定	
③センターの職員、スタッフには接遇、応接等の定期的な研修を行い、利用者の立場に立った運営を行う。	③実施済			③H23年度と同様に実施予定	

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)				
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていない が必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。		
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成23年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成24年度予定
・サービス向上のための取り組みとなっているか		○	○	
①様々な活動を支援するという趣旨から、それぞれの団体・個人の主義主張や意見の相違を前提とし、多様な意見や立場を尊重する。	①履行済	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	①履行予定
②具体的な相談において、一つの方法を押し付けるのではなく、様々な選択肢を提供することが求められるため、スタッフやセンターに様々な情報を集中し、必要に応じて提供できるように整理する。	②履行済			②履行予定
③センターの利用者・相談者に対して、単なる仕事の代行や請負をした場合は、個人や団体の活動を終息することにもなりかねない。自分で動き、失敗も含めた経験を積むことが市民活動の糧となる。	③履行済			③履行予定
④推進委員会会員及びセンタースタッフは、様々な活動を通じて常に新鮮な情報を吸収し、利用者に提供できる様心がける。	④履行済			④履行予定
・情報の収集及び提供事業を効果的に達成できる計画となっているか		○	○	
※資料3 平成23年度事業概要		事業計画どおり実施できた。新たにイベント情報を発行。	ホームページをリニューアルするなど情報提供に積極的に取り組んだと認められる。次年度に向けて、より多くの市民公益活動団体をインターネットで紹介するなど、積極的に次の展開に進んでもらいたい。	
①ボランティア活動紹介冊子「はじめてみませんか」の作成、配布	①実施済			①H23年度と同様に実施予定
②生涯学習情報誌へのボランティア活動紹介、案内記事の掲載。	②実施済			②H23年度と同様に実施予定
③情報誌「るーぷらざだより」の発行	③るーぷらざだよりを春号、夏号、秋号、冬号を発行			③H23年度と同様に実施予定
④他市、他施設調査・研究	④寝屋川市へ視察実施済			④実施予定
⑤ホームページの活用(河内長野市のホームページとも連携し、市民公益活動につながる情報を効果的に提供するため登録団体を募り、団体やその活動をインターネット上で公開する。)	⑤実施済			⑤H23年度と同様に実施予定
⑥お知らせポケット(各団体の情報をタペストリーのポケットに入れたもの)の運営	⑥実施済		⑥H23年度と同様に実施予定	
・人材育成事業を効果的に達成できる計画となっているか		○	○	
※資料3 平成23年度事業概要		事業計画どおり実施できた。	講座など様々な取り組みを通じて、多くの人材が育成されたと思われる。今後も、引き続き市民公益活動の入口となるような裾野の広い取り組みを期待する。	
①ボランティア活動入門講座の開催	①実施済			①実施予定
②ボランティア活動体験見学プログラムの開催	②実施済			②実施予定
③グループ運営講座の開催	③実施済			③実施予定
④アドバイザー養成講座の開催	④2回実施			④実施予定
⑤制度活用講座の開催	⑤実施済			⑤実施予定
⑥NPO団体支援講座の開催	⑥実施済	⑥実施予定		
・相談、助言、コーディネート事業を効果的に達成できる計画となっているか		○	○	
※資料4 相談対応の主な内容と件数		○	○	
①センターにおいての情報提供、相談業務(有給無給に係らず、情報提供員、センタースタッフは市民公益活動の相談・助言ができる者とし、相談窓口を設置し対応する。)	①履行中			①さらに内容を充実させて実施

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)				
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)				
文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていない が必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。				
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成23年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成24年度予定
②他施設におけるボランティア市民活動情報提供コーナーの運営	②実施中	事業計画どおり実施できた。	特に、市の制度や、NPO法改正などに迅速に対応できていた。今後は、相談員の増加や機能強化などで、受身の相談だけではなく、能動的・積極的なコーディネート促進に取り組んでもらいたい。	②実施予定
③相談および情報提供員の研修	③ステップアップ講座(3月)実施、外部研修参加			③実施予定
④補助金、協働提案事業、NPO立ち上げ相談(補助金、提案制度などの相談・支援、NPO法人の立ち上げ、認証申請の相談に応じる。)	④補助金や提案制度の説明会や活用講座を実施。企業・団体向けのNPO勉強会に講師として参加した。			④さらなる充実を図る
⑤相談コーディネート機能強化講座開催	⑤実施済			⑤さらなる充実を図る
⑥立ち上げ支援としての情報提供(活動紹介や助成金情報、団体立ち上げに必要な情報提供に努めると共に活動拠点、連絡場所が無い場合などに対し貸事務ブース、貸ロッカーなどの情報を提供する。)	⑥実施済			⑥さらなる充実を図る
⑦生涯学習、社会福祉協議会その他中間支援組織のお互いの立場を理解し尊重しつつ情報の交換に努める	⑦センターと社会福祉協議会がお互いの情報誌でPR記事を掲載した。			⑦さらなる充実を図る
⑧個人ボランティアについて、個人情報の保護に配慮しつつ登録システムを検討する。	⑧特別なシステムを構築せず、個人ボランティアの申出や相談を受けて、個別・適切にコーディネートしている。			⑧さらなる充実を図る
・連携及び交流促進事業を効果的に達成できる計画となっているか		◎	○	
①「市民まつり」などへの参加し、活動紹介などを行い、広く市民に情報を提供する。	①東日本大震災の影響で中止。	団体交流を行事目的の一つとしているボランティア市民活動フェスティバルは、参加団体の増加により、連携及び交流促進の効果が図られていることを実感する。具体的には、団体間の連携事業を数例確認、その他団体相互理解が図られてきている。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	①幹事団体として参加予定
②「団体交流会」の開催し、活動展示、意見交換などによりそれぞれの団体活動の理解を深めネットワークの促進をはかる。	②実施済			②実施予定
③ボランティアフェスティバルの開催	③実施済(活動報告展を3月に行った)			③実施予定
④ラウンドテーブル(るーぷの集い)の開催する。また、市内小中学校区で開催されている「まちづくり交流会」を支援する。	④毎月第2土曜日開催 ※まちづくり交流会への支援を行った			④毎月第2土曜日開催予定
⑤地域連携として自治会交流会への支援	⑤実施済			⑤実施予定
⑥市内防災活動のネットワークに参加(市の危機管理室や社会福祉協議会、自主防災団体との連携、協力にむけ検討を継続する。)	⑥実施済。災害時の役割分担について、社会福祉協議会などと連携会議で情報交換を行った。			⑥実施予定
⑦生涯学習や社会学習に関わる団体との協力	⑦実施済			⑦実施予定
3. 事業計画の内容が、施設の管理に係る経費の縮減が図られるものであること				
・維持管理費の縮減を図る取り組みとなっているか		○	○	
①印刷機やコピー機等のインクや紙の消費量を減らす。倍率、印刷方法の工夫により紙消費量減らす。	①履行済	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	①履行予定
②不要になった用紙をメモ用紙として使う。	②履行済			②履行予定
③FAXやインターネットを活用し、郵便料金の節約を図る。	③履行済			③履行予定

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)					
事業計画(指定管理者から当初に提出)		平成23年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成24年度予定
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用) 文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていない が必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。 					
④スタッフの私用電話の利用は禁止し、相談もできるだけ直接面接して電話料金の節約を図る。		④履行済			④履行予定
⑤整理整頓・清潔に心がけ、清掃や修繕などにかかる消耗品の出費を抑える。		⑤履行済			⑤履行予定
・光熱水費の縮減を図る取り組みとなっているか			◎	○	
①使用していない場所など電気はこまめに消す。		①履行済	電気、水道、ガス等の光熱水費の縮減に対する意識は管理者のみならず利用者の意識も高く、引き続きガス・水道代は基本料金範囲である。特に夏期、冬期の空調機器運転についての温度設定を厳守。利用者の節電意識も高く効果は大きい。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	①H23年度同様に履行予定
②室内温度を冬19℃、夏28℃に設定するなどして節電を図る。		②概ね履行できている			②H23年度同様に履行予定
③メインスイッチを汎用し、待機電力を節減する。		③履行済			③H23年度同様に履行予定
④湯沸しはその都度沸かし、できるだけ電気ポットの利用を控える。		④履行済			④H23年度同様に履行予定
⑤雨水を貯めて活用するなど、節水に努める。		⑤履行済			⑤H23年度同様に履行予定
⑥職員はもとより利用者にも節電、節水を呼びかける。		⑥履行済			⑥H23年度同様に履行予定
⑦給湯などガスの使用は、必要以上に行わない。		⑦履行済			⑦H23年度同様に履行予定
・人件費の縮減を図る取り組みとなっているか			○	○	
①有給の職員及びボランティアスタッフによる業務のスムーズな遂行を図る。		①履行済	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	①H23年度同様に履行予定
②残業や休日出勤が発生しないように努める。		②履行済			②H23年度同様に履行予定
③職員やボランティアの健康と安全に配慮し、事故や怪我・疾病などによる不必要な出費を防ぐ。		③履行済			③H23年度同様に履行予定
④センターの効率的な運営を図る。		④履行済			④H23年度同様に実施予定
4. 事業計画に沿った施設の管理を安定して行うための十分な能力を有するものであること					
・管理運営に必要な能力を備えた職員配置、確保がなされる計画となっているか			△	○	
①センターのスタッフ並びに相談業務につく者は、推進委員会正会員で、相談業務にあたる資格要件は2年以上のボランティア・市民公益活動経験の上、アドバイザー養成講座の受講及びボランティア情報提供コーナー経験を満たしたものとする。		①履行済	年度途中で常勤職員の中途退職があり、事務的支障・停滞があったが、非常勤職員の常勤化と共に、ホームページ運営については、指導を受ける体制をとることにより育成が進みつつある。	当初の事業計画のとおり実施できていた。次年度に向けて、従来の研修手法に留まらず、相談対応が可能なスタッフの増加と、高度な専門性をさらに高める取り組みを検討・実施してもらいたい。	①H23年度同様に履行予定
②相談業務にあたる者は相談技能向上の為の研修を継続して行う。		②適正な配置を行い、研修も実施(ステップアップ講座、外部研修参加)			②H23年度同様に実施予定
③スタッフは、作業スペース及び館内の器機の取り扱いに関して必要な研修を受けるものとする。		③必要に応じ、随時実施			③H23年度同様に実施予定
④スタッフは、推進委員会での活動以上に、公共施設の管理者としての役割を自覚し、そのために必要な研修を行う。		④ステップアップ講座やスタッフ会議で実施			④H23年度同様に実施予定

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)				
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていない が必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。		
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成23年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成24年度予定
・職員の業務能力の向上をめざした研修の計画となっているか ※資料5 視察・研修受入れ及び講師派遣		○	○	
①基礎研修(スタッフ全員)として、接遇・応接・人権尊重・救急救命その他命と安全に関する研修を実施する。	①実施済	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	①実施予定
②実務研修(事務局)として、器機の取り扱い・会計処理(法人会計)・労務、社会保険に関する研修を行う。	②随時実施			②随時実施
③管理者研修(理事会)として、他市町村の協働に関するセンターとの交流や研修・施設管理者としての研修を行う。	③箕面市等の各センター主催の講座・研修に参加。寝屋川市のセンターを視察。大阪ボランティア協会主催の関西NPO支援センターネットワークのゼミに参加。			③他市施設視察予定。関西NPO支援センターネットワークのゼミに参加予定、他市センター主催講座・研修に参加予定
④協働の視点から、市の出前講座を積極的に招き、スタッフ研修とする。	④実施済			④実施予定
・人権啓発及び個人情報保護等研修計画について、適切な取り組みとなっているか		○	○	
年1回程度、推進委員会として河内長野市が行う人権啓発及び個人情報保護等の出前講座を受講し、以後も継続して研修を行う。その上で利用者の基本的人権を尊重し、法令を遵守した管理に努める。	実施済	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	H23年度と同様に実施予定
・公正採用選考人権啓発推進員選任の取り組みについて、適切な取り組みとなっているか		○	○	
職員の採用に当たっては、理事長や事務局長など主な施設管理者が人権啓発研修を受講するなどして、面接その他選考過程で人権侵害にならないよう配慮する。	実施済	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	H23年度と同様に受講予定
・障がい者雇用の取り組みについて、適切な取り組みとなっているか		○	○	
職員の採用に当たっては、障がい者の能力を活かせる職種・職域を開発し、適正な人材の確保・採用に努力する。	検討	障がい者雇用につながっていないが、病気休職者の職場復帰を可能にした。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	検討
・個人情報保護について適切な考え方をもち、適切な取り組みとなっているか		○	○	
①退職後も、知り得た秘密は漏らさない。	事業計画のとおり履行済	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	事業計画のとおり履行予定
②総合的なセキュリティ対策を講じる。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定
③私用でのパソコン利用、インターネットアクセスはしない。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定
④第三者に使用されないよう適切な措置・管理をおこなう。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定
⑤フロッピーディスクなどの記録媒体使用には注意する。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定
⑥ファイル交換ソフトがインストールされたパソコンで、業務は行わない。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定
⑦個人情報の取り扱いは、特に注意する。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定
⑧ICカードや磁気カード等は、保管場所に注意し、適切な管理を行う。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)					
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていない が必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。			
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成23年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成24年度予定	
⑨パスワードを利用する場合、漏洩や盗み見などに注意し、適切な管理を行う。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定	
・情報公開について適当な考え方をもち、適切な取り組みとなっているか		○	○		
①業務文書の公開請求に応じることができるよう、できるだけ行った業務を文章にして残すよう心がける。	事業計画のとおり履行済	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	事業計画のとおり履行予定	
②会議録はそれを保管する。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定	
③ミーティングや引継ぎの内容は、文章にして残す。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定	
④そのために、業務上必要な書式を整える。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定	
⑤書類は、時期や項目等で必要な分類を行い、整理する。	事業計画のとおり履行済			事業計画のとおり履行予定	
・環境への十分な配慮がなされた取り組みとなっているか		◎	○		
①経費の削減のみならず、環境への影響を鑑みて、できるだけ節電・節水、省エネに努力する。	①実施済(例:省エネへの取組みとして緑のカーテンを実施)	ペットボトルキャップ・空きカン プルトップの収集等のリサイクル活動は団体、市民の皆様 に徐々に周知され、各方面からの協力を得た。また、緑のカーテンへの取組みは継続。種・苗の提供は好評を得、配布場所、配布数量とも倍増。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	①H23年度同様に実施予定	
②印刷する紙は必要最低限に抑える。	②実施済			②H23年度同様に実施予定	
③車のアイドリングを禁止し、騒音防止および空気正常化に努める。	③看板を設置し実施			③実施済	
④ゴミの分別収集に協力し、減量化をはかる。	④実施済(ペットボトルキャップの回収・リサイクルを実施中)			④H23年度同様に実施予定	
⑤館内の清潔保持に心がけ、利用者にも環境美化を呼びかける。	⑤張り紙をし実施			⑤実施済	
⑥全館禁煙とする。	⑥実施済			⑥H23年度同様に実施予定	
⑦館の内外にかかわらず、近隣に迷惑になるような行為は禁止する。	⑦実施済			⑦H23年度同様に実施予定	
・利用者の安全を確保できる取り組みとなっているか		○	○		
①段差や階段などの箇所をわかりやすく明示する。	①案内図を設置	事業計画どおり実施できた。	当初の事業計画のとおり実施できていた。	①実施済	
②通路、出入り口には物を置かない等の注意書きを貼り出し、注意を促す。	②履行済			②H23年度同様に履行予定	
③館内での火器の使用は禁止し、書類等も整理して保管する。	③履行済			③H23年度同様に履行予定	
④作業スペースの機器の利用に際しては、事故防止に努め、利用者への機器利用法を説明、注意を促す。	④履行済			④H23年度同様に履行予定	
⑤雨天時等、転倒等の事故が発生しやすいので、玄関マットを設置する。	⑤履行済			⑤H23年度同様に履行予定	
⑥擦り傷などに対応する救急箱等を設置する。	⑥設置済			⑥設置済	
⑦張り紙等で駐車場での安全確認を促し、交通事故を防止する。	⑦履行済			⑦H23年度同様に履行予定	

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)					
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていない が必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。			
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成23年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成24年度予定	
⑧高齢者・障害者のみならず、児童の転倒や転落にも注意する。	⑧段差を解消することで履行中			⑧H23年度同様に履行予定	
⑨地震や火災などの災害に備えて非常出口・通路を館内に図面にして張り出し、適宜避難訓練等を行い災害に備える。	⑨実施済			⑨H23年度同様に実施予定	
⑩スタッフは年一回以上の救急救命訓練を受ける。	⑩実施済			⑩H23年度同様に実施予定	
⑪安全確保のためのマニュアルを作成し、スタッフ研修等で周知する。	⑪実施済			⑪H23年度同様に実施予定	
⑫緊急時の推進委員会内連絡網、および災害時の連絡網を作成し、災害発生時に備える	⑫実施済			⑫H23年度同様に実施予定	
・緊急時において、適切に対応できる取り組みとなっているか		○	○		
①スタッフをはじめ推進委員は、緊急時には必要な救助を行う。	①実績なし	事業計画どおり実施できた。	緊急時の対応実績がなかったとはいえ、十分な備えがあったと認められる。	①対応できるように訓練実施予定	
②近隣の医療機関や消防署等の行政機関との連携を図り、緊急時には適切な指示を受け協力を仰ぐ。	②近隣の医療機関や消防署等の行政機関の連絡先については把握済			②把握済	
③常に避難経路を明示し、必要に応じて避難訓練を行う。	③実施済			③H23年度同様に実施予定	
④事故が起こった場合は必要な緊急措置を行うと共に、速やかに関係機関に連絡し指示を仰ぐ。	④実績なし			④速やかに対応できるよう訓練実施	
⑤事故の処理と再発防止のため、事後は冷静に事態を振り返り、報告文書を作成し関係機関に届け出ると共に反省会を行う。	⑤実績なし			⑤発生すれば対応する	
・災害時、地域住民全体の安全を確保できる取り組みとなっているか		○	◎		
①これまでの「ボランティアフェスティバル」の際に収集した、「防災、災害時・後なにができますか」といったアンケート結果等を活用し、活動できる個人・団体を確保する。	①②③危機管理室、地域福祉課、市民協働室、社会福祉協議会と災害時の取組みについて意見交換を行い、市内のボランティア団体に関する対応はセンターが中心に行うという方向性が出た。そのために必要な団体の代表者や連絡先、さらには災害時等に団体ができることに関する情報を把握し、災害時等のボランティアの需給調整に関しコーディネートできる体制の強化に努めた	事業計画どおり実施できた。	東日本大震災の被災地支援を通じて、社会福祉協議会などの連携促進が図られ、災害時に備える体制構築につながったと認められる。	①②③災害時等に団体ができることについて最新情報の把握に努める。また、災害時の取組みについては今後も市(危機管理)や社会福祉協議会とも協議をしながら引き続き検討していく	
②行政との連携を基に必要な情報伝達や救援活動を支援する。					
③これまでの危機管理室等との調整を基に連携づくりに努める。					

受託者	市民公益活動団体はもちろんのこと、地域型団体との協働や連携に向けた取り組みが活発化し、幅広く協働促進を図ることができた。中でも、提案制度や補助金の活用促進に向けて、多くの団体に制度活用の意識付けができ、協働の取り組みがさらに充実してきたと感じる。また、東日本大震災では、現地復興支援の必要性が宣言されたが、同時に「他人事でない」とまちづくりへの市民の関心が高まった。そのような中、その他の重点的な取り組みとして、当センターの声かけによる街頭募金、支援物資仕分け、古着裂き布マットの取り組み等は、団体・個人が興せる活動の一つのありかたを示すことができたのではないかと。なお、担当行政機関とは、当初は定期的に調整会議を持つことで情報共有を進め、その後も、必要に応じて会議・情報交換を行うことにより、課題共有、役割分担等の事業推進がより有効的なものとなった。今後は、センター機能のより一層の向上のため、スタッフのスキルアップが最大課題であると認識している。
行政	市民と行政の間に立つ中間支援の立場でコーディネート機能を発揮し、市民公益活動支援補助金や協働事業提案制度の活用促進に取り組み、多大な成果を上げたと評価している。また、ボランティア活動体験・見学プログラムが拡大し、市民公益活動への門戸を広げる一助となったことは、センターの趣旨から非常に象徴的な取り組みであったと思われる。さらに、市が進める東日本大震災の被災地への支援活動に、市民公益活動団体や市民の先頭に立って積極的に協力いただけたことは、新たな協働促進につながったと認識している。なお、スタッフやボランティアなど人員に限られているにも関わらず、市の事業に相互に参加し合うなど、市とセンターで協力体制がしっかりと構築されていた。今後は、センター全体の機能のさらなる底上げに向け、「専門的なスタッフ」の人材育成に努め、市民公益活動団体を積極的にサポートし、行政機関との協働を調整・コーディネートできるような専門性の高いスタッフの増加を期待する。